

がん化学療法指示書

登録番号 268

作成日 2021/6/8

レジメン名	ニボルマブ+イピリムマブ療法
診療科・対象疾患	(呼)切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 (呼)切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫 (外)根治切除不能な進行・再発の食道癌
投与間隔	6週毎
投与サイクル数	PDになるまで (食道癌は投与開始から2年まで)

Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
オブジーボ	ニボルマブ	360mg/body	Day1, 22
ヤーボイ	イピリムマブ	1mg/kg	Day1

治療内容	注射	滴下順	抗癌剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール										
								day1	day22	day42				
								●										
治療内容	注射	Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保・フラッシュ用	●										
				Rp2	癌 オブジーボ(ニボルマブ)	360mg	30分	点滴静注メイン	●									
					生理食塩液	100mL												
			総量100mLにする															
		Rp3		生理食塩液	100mL	30分	経過観察用	●										
				Rp4	癌 ヤーボイ(イピリムマブ)	1mg/kg	30分	点滴静注メイン	●									
					生理食塩液	100mL												
			総量100mLにする															
		Rp5		生理食塩液	50mL	15分	経過観察・フラッシュ用	●										
				投与スケジュール								day1	day22	day42
				●														
		治療内容	内服	Rp1		生理食塩液	100mL	任意	ルート確保用				●					
						Rp2	癌 オブジーボ(ニボルマブ)	360mg	30分	点滴静注メイン				●				
							生理食塩液	100mL										
					総量100mLにする													
Rp3				生理食塩液	50mL	15分	経過観察・フラッシュ用				●							
その他必要薬剤																		
総投与時間	Day1:1時間50分、Day22:50分																	
血管外漏出リスク	オブジーボ(ニボルマブ):非壊死性抗がん剤 ヤーボイ(イピリムマブ):非壊死性抗がん剤																	
投与時の注意事項	・オブジーボ(ニボルマブ)、ヤーボイ(イピリムマブ)はフィルター付きルート要 ・オブジーボ(ニボルマブ)投与完了後、ヤーボイ(イピリムマブ)まで30分以上間隔をあける。 ・オブジーボはシリコン製のCVポートは蛋白質の凝集を認めるため、使用を避ける。																	
備考欄	Infusion Reaction Grade2の場合、オブジーボ(ニボルマブ)あるいはヤーボイ(イピリムマブ)の投与を直ちに中止する。1時間以内に回復する場合には、投与速度を50%減速して再開する。 Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーフ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠																	